

連合会 2024 謹賀新年 だより



発行 名寄市町内会連合会
会長 中村 雅光
発行日 令和6年1月1日
編集 連合会だより編集委員
事務局 市役所総合政策部地域課題担当内
TEL01654-3-2111 (内線 3311)

年頭のいめざわい

「よき一層の発展を」



名寄市町内会連合会 会長 中村雅光

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、穏やかな辰年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。また、日頃より各単位町内会と当連合会の各種事業行事の活動に特段のご理解とその推進にご尽力をいただいておりますことに、本紙面をお借りしまして心より感謝いたしますとともに厚くお礼を申し上げます。

さて、皆様もご存じのとおり、名寄市では昨年4月より総合計画（第2次）後期基本計画がスタートしました。リストアップされています全ての事業計画が市民総意のもと完遂され、よき一層名寄市が発展されますことを願ってやみません。

令和2年の春から猛威を振るっておりました新型コロナウイルスの感染拡大も昨年5月より第5類に移行され、多大な悪影響を及ぼしてきました各町内会の諸活動も動きだした様に感じられます。

しかしながら、この4年の空白は非常に大きく、より以上の少子高齢化が進行し、各町内会への加入状況も過去に類を見ないほど低下し、あわせて役員への成り手不足が顕著に表れたのも事実であります。

以前のように各町内会活動が子ども達を中心とした行事に取り組み、そこに世話好きな親御さんが手伝い、さらに過去の経験者に加わり、その地域が盛り上がるような時代になればと期待しているところでもあります。

近年、世界が様々な事件、事故、紛争が絶え間なく勃発しておりますが、今年こそは笑顔で安全で安心な住みやすい年になりますことを願いつつ、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。

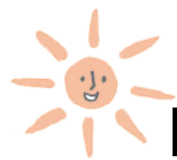


全国自治会連合会北海道札幌大会に参加しました

令和5年10月18日に札幌市「かでる2.7」において、令和5年度全国自治会連合会北海道札幌大会が開催されました。本大会は、令和5年度全国自治会連合会北海道札幌大会実行委員会（事務局北海道町内会連合会）主催で開催され、当市町内会連合会からは中村雅光会長他3名の副会長及び事務局が参加しました。

式典では全国自治会連合会会長表彰や叙勲受賞者紹介が行われ、その後、街歩き研究家和田哲氏による記念講演や苫小牧市拓勇東町内会、札幌市西区琴似2条中央町内会からの活動発表が行われました。





町内会に加入しましょう！

町内会は地域の住民の皆さまで組織され、さまざまな活動を行っており、多くの皆さまにご参加いただくことで豊かな地域づくりにつながります。



左記フォームをスマートフォン等で読み込むと、町内会加入申し込みができます。



令和5年度 町内会連合会活動報告

- ◆4月25日
定期総会
- ◆7月6日
町内会長と行政との懇談会
- ◆7月15日
町内会親睦パークゴルフ大会
- ◆8月22日
(※北海道町内会連合会主催)
町内会活動実践者研修会
- ◆8月23日～24日
先進地視察研修会
- ◆10月18日～19日
(※北海道町内会連合会主催)
全国自治会連合会北海道札幌大会
- ◆11月20日～11月27日
まちづくり懇談会
- ◆11月30日
町内会ネットワーク研修会



編集委員 蓮宗 孝

4年前から始まった新型コロナウイルス感染症は、世界的な流行ブームの流れにより、あっという間に日本はもとより世界中に感染者が発生しました。そのために命を奪われたり、入院治療をよぎなくされたり、経済活動にも莫大な損失を生じさせました。道内におきましても旅行者が激減し観光業者や飲食業者へのダメージは、はかり知れないものがありました。

そのような中では、町内会活動もほとんどが人と人との対面での活動ができず、すいぶんと後退し、残念なことでした。

しかし昨年は、春からワクチンの接種や人々の免疫力の高まりにより、以前の活動に戻れる時がきました。

町内会活動の中の清掃活動、防災訓練、子ども会の諸行事、夏祭り、敬老会、忘年会、新年会等、いろいろな行事が復活していただき地元新聞には各町内会のすばらしい活動が紙面に紹介されているのを見るたび大変嬉しく思っております。

私の町内会でも年間活動のほとんどが全てが担当役員の皆様の努力で復活することができ安心いたしました。

「明るく住みよいまちづくり」をやることを大切にしている各町内会の皆様が会員同士が対面により話し合っており、新しいアイデアを入れながらすばらしい活動をされることを願っております。

つづくと

町内会長と行政との懇談会

7月6日に開催しました「町内会長と行政との懇談会」には47名の町内会長が出席し、行政からは市長・副市長・教育長をはじめ、各部署長にご出席いただきました。

会の冒頭、加藤市長は「新型コロナウイルス、各町内会においてもコロナ前同様の活動に戻ってきているところもあるかと思う。地域の最前線に立って地域町内会のためにまちづくりの骨格になっている活動にご奮闘いただいている皆様のご苦労に心から敬意と感謝を申し上げます。今日の懇談会で様々な意見を賜り施策に反映させて参りますので活発なご議論をよろしくお願いします。」とお話されました。

行政から主要施策や事業概要などの説明があった後、参加町内会長から行政に対する意見・質問が寄せられました。

町内会長からはAー活用型

オンデマンドバスに関する質問や、避難者用支援名簿に関する質問、町内にある空き家に関する提案や、名寄市立大学生の市内への就職に関する意見が寄せられたほか、道路・公園・河川などの情報提供がありました。



まちづくり懇談会 を開催しました

11月20日から11月27日の期間において、まちづくり懇談会を市内4か所で開催しました。全会場合わせて98人の方に参加いただき、市政に対するご意見・ご要望、ご提言などが出され、活発な意見交換の場となりました。

本懇談会は従来9会場にて開催してきましたが、ここ数年の各会場での参加者人数の減少を受け、地域や行政と協議を行い、会場の一部を集約し今年度は4会場で開催いたしました。

今年度のまちづくり懇談会では市からのお知らせとして「令和4年度名寄市の台所事情」について総務部長より説明があり、皆様と活発な意見交換を行いました。

会場では、スポーツ推進に関する意見や、保育所や子育てに関する意見、市内学校給食における麺類の提供についての質問のほか、道路や除雪、公園などに対する質問・意見が多く寄せられました。

また、今後のまちづくりに関する意見等、市政に対する様々なご提言がありました。

各会場で出された市政へのご意見等に関する回答は名寄市ホームページに掲載されますので、ご覧ください。お忙しい中、多くの皆様にご参加をいただきまして誠にありがとうございます。



町内会親睦パークゴルフ大会

7月15日、第23回町内会親睦パークゴルフ大会を開催し、15町内会79人が参加しました。当日は天候にも恵まれ、名寄パークゴルフ協会の協力のもとスムーズな運営で無事大会を終了することができました。

団体Aグループでは東12区町内会が、団体Bグループでは旭東区町内会が優勝しました。個人の部では、男子Aグループは北5区町内会の荒井長生さん、男子Bグループは西町三町内会の新堂豊さん、女子Aグループは大橋区町内会の中村久子さん、女子Bグループは第18区町内会の桑瀬久子さんが優勝されました。大会に参加された皆様、大変お疲れ様でした。

【団体の部Aグループ】「スコア」	【団体の部Bグループ】「スコア」
優勝 東12区町内会 「397」	優勝 旭東区町内会 「425」
準優勝 西町三町内会 「400」	準優勝 徳田区町内会 「426」
3位 風連南区町内会 「407」	3位 21区町内会 「427」
【個人の部（男子Aグループ）】	【個人の部（男子Bグループ）】
優勝 荒井長生（北5区）「94」	優勝 新堂豊（西町三区）「106」
準優勝 梅木政夫（東12区）「96」	準優勝 永田悦夫（21区）「106」
3位 平間豊（西町三区）「96」	3位 清水一夫（旭東区）「106」
【個人の部（女子Aグループ）】	【個人の部（女子Bグループ）】
優勝 中村久子（大橋区）「99」	優勝 桑背久子（第18区）「108」
準優勝 梅木澄子（東12区）「99」	準優勝 北村幸恵（21区）「109」
3位 黒川ひろ子（東12区）「100」	3位 斉藤俱子（旭東区）「111」

※同スコアの場合、1位はプレーオフ、それ以外はカウントバック方式で順位を決定しています。

コロナ禍での町内会活動紹介

旭東区町内会では、長年、市主催の「なよろのおどり」に参加した後、懇親会で交流を深めてきた経緯がありましたが、中止になったことを受け、新たに「ふれあいの集い」を企画し、今年で17回目の開催となりました。町内会員約100人が参加し、例年はジンギスカン鍋を囲んでいます。感染症予防に配慮して弁当を用意し、生ビールや清涼飲料を飲みながら交流を深めました。また、郷土芸能名寄太鼓保存会技能部「源響」のメンバー9人が「天文字太鼓」「行進太鼓」を演奏し、威勢の良い太鼓の音色が会場のムードを盛り上げました。

風連西区町内会のコロナ禍のため中断していた「夏まつり」は、会場の西町コミセン駐車場に多くの会員・家族が集い、3年振りの開催となりました。企画運営は、実行委員会を中心に進め、子ども会役員、賛助会員、小中学生の皆さんの手伝いを得て、子ども縁日、町内ミニミュージシャンによるステージショー、ビールコップ等を持つての歓談などで親睦と交流を深め、談笑の絶えない夏の一夜となり、次年度以降も「住みよさ」を共感できる場として継続する予定です。

